



# 釧路体協だより

第 59 号

発行 釧路市体育協会  
平成 22 年 9 月 30 日

## 課題解決に向けて全面展開を



釧路市体育協会は、初めての国民体育大会が開催された昭和21年に加盟9団体をもって発足しました。以来、今日まで多くの競技団体が加盟を果たし、平成18年には市町合併によって2支部が加わる

など確実に組織の充実・発展を続けており、現在は39団体を数えます。

その間、釧路市体育協会はスポーツの振興や健康づくり・生きがいがづくりなど、豊かで活力ある街づくりに貢献するとともに、とりわけ、選手の強化、指導者の養成・活用及び生涯スポーツの普及に積極的かつ継続的な展開をしてきました。

スポーツは運動の楽しさや爽快感、仲間との交流による安らぎや、連帯感、高度な技術をマスターする達成感、そして健康の保持増進など豊かな市民生活を実現する上で欠くことのできない極めて重要な要素であります。

このようなスポーツの機能を活かし、一人一人が活力に満ちた生きがいを実感するため、スポーツを生活化していく傾向が強まるとともに、自己

の年齢、体力、技術や目的に応じた多様なスポーツ活動のニーズが高まるものと予想されます。

これらに対応するためには、行政の施策としては勿論ではありますが、スポーツ統括団体である釧路市体育協会の果たすべき役割がますます重要となってきます。

今後の課題として、スポーツ活動の拠点である「湿原の風アリーナ釧路」の有効活用によるさらなる施設機能の発揮、老朽社会体育施設の早期補修及び耐用年数切れ旧式備品の更新等があります。一方、生涯スポーツの振興の観点からは、スポーツ実践者の拡大、スポーツクラブの育成及びスポーツ少年団の充実・発展等が挙げられます。

「湿原の風アリーナ釧路」の完成がみんなの願いを結集させた「一点突破」だとしたならば、これらソフト面・ハード面の課題解決はまさしく「全面展開」で進めていくこととなりましょう。

そのためには各加盟競技団体のご理解とご支援が是非とも必要となってきます。関係皆様方のますますの発展を願いつつ、スポーツ環境のさらなる改善を目指し、ともに歩みを進めていく決意でございます。

## 祝 釧路パークゴルフ協会 設立20周年を迎える

釧路市体育協会では34番目の加盟団体である釧路パークゴルフ協会が、記念すべき設立20周年の節目を迎えました。記念式典はアクアベールに関係者約170名が出席する中、佐々木勝成会長の式辞をはじめ、功労者の表彰が行われました。続く祝賀会では釧路自衛隊の日本太鼓が演奏されるなど大いに盛り上がりました。

また、国際パークゴルフ協会に申請していた公認コースの認定書が9月1日付で届き、喜びが重なることとなりました。

釧路パークゴルフ協会は、現在、33団体850名もの愛好者を有する大規模団体です。今回の設立20周年を新たなスタートとして捉え、パークゴルフ愛好者のニーズに応えるべく活動のさらなる充実・発展に期待が寄せられております。



会長 式辞



感謝状 贈呈

釧路市体育協会表彰 8/27(金)

今年度は功労賞3名、優秀選手賞1名に授与



横平昭氏は、釧路テニス協会で28年間にわたり、理事、理事長を歴任され、現在は会長としてご活躍されております。その間、若手選手の育成を通して競技力の向上を図るとともに、テニス愛好者の拡大に力を尽くされ、釧路テニス協会の発展に多大なる貢献をされてきました。



大日向勲男氏は釧路ソフトテニス協会で29年間にわたり、常任理事、参与等を歴任され、現在は副理事長としてご活躍されております。その間、北海道代表の監督として全国大会での上位入賞に貢献されるとともに、審判部長としてソフトテニスの普及・発展にご尽力されてきました。



吉田達弘氏は釧路ソフトテニス協会で29年間にわたり会計部長、会計監事等を歴任され、現在は常任理事としてご活躍されております。その間、小学生を中心としたジュニア選手の技術の向上に力を尽くされ、ソフトテニス競技の普及・発展に多大なる貢献をされてきました。



館翔汰くんは今春3月、東京辰巳国際水泳場で開催された全国JOCジュニアオリンピックカップにおいて、10歳以下の部・50m自由形に北海道代表として出場し、持てる力を遺憾なく発揮して見事優勝されました。今後の12歳以下の部での活躍が期待されております。

秋季体育祭開会宣言・各種競技一斉開始

天高くスポーツの秋満開

第65回釧路市秋季体育祭の総合開会式が8月27日夜、「湿原の風アリーナ釧路」サブアリーナで行われました。

会場には昨年度各競技の優勝チームの代表ら300名が駆け付けました。

市長杯返還の後、張江市体育協会長からは「スポーツを愛する多くの市民のおかげでこの立派な体育館がある。素晴らしい環境を全員が享受しながら、市民皆スポーツの下地を築いていこう」との激励がありました。

これを受け、北海道ボウリング連盟釧路支部の石川和男選手が力強く選手宣誓をし、大会にかける意気込みを示しました。

体育祭は、軟式野球など既に開幕している種目もありますが、多くは9・10月に集中しており、市内各地で熱戦が繰り広げられます。



宣誓



総合開会式



ソフトボール



パークゴルフ



サッカー



ボート

釧路市体育協会阿寒支部

## 体協をアピール!!

事務局 島山 幸男



毎年恒例になっている「阿寒ふるさとまつり」における体協阿寒支部事業。

今年は新しく、『熱ケツ！尻すもう大会』を行いました。男女別開催を予定していたのですが、恥ずかしがり屋の女性が多いのか、女性の参加が少なく、急遽男女別の枠をとって行いました。

やっている本人は真剣、見ている人はその様子を見て大笑い！笑顔いっぱいの事業を展開することができました。人気のあるダーツも100人分の整理券をさばき、今年も参加型のレクリエーション競技で体協阿寒支部の目的の一つでもある「身近な存在」をアピールすることができました。

本年度は、管内役職員等研修会が阿寒地区で開催する予定となっており、競技スポーツの推進と指導者等の資質の向上に取り組んでいきたいと考えております。

釧路市体育協会音別支部

## 地域の交流事業

事務局 山田 昌江



昭和33年10月に発足し、設立52年目を迎えた当支部は、音別地区の体育団体（9団体：会員約500人）と

町内会で組織され、年間5種目の町内対抗競技大会や資質向上研修会、共催事業など各種事業を開催しています。

今年で25回目となる「ファミリースポーツ交流会（共催事業）」は、三世代の交流を目的に、年齢に関係なく気軽に運動に親しめる事業として、例年10月に行われています。昨年は、小学1年生から87才までの62名が音別地区体育指導委員の方々の指導により4種目の軽スポーツを体験した後、おにぎり焼肉でお腹を満たし楽しいひとときを過ごしていました。

今後も地域の実情に合わせ、関係団体との連携を図りながら、地域活性化の一助となるよう各種事業に取り組んでいきたいと考えています。

## 華麗で魅せる技を披露

釧路トランポリン協会 会長 戸田 悟



当協会は平成10年10月に設立、5団体で構成し指導員20名、登録人員223名の体制で活動し現在に至っております。世界大会のシンクロナイズドにおいて銀メダルを受賞する

選手が輩出され、続く選手も全道大会では、個人3連覇・シンクロナイズド2連覇を果たす活躍と共に全国大会に多くの選手が出場しております。

平成20年9月、湿原の風アリーナ釧路の完成に合わせて全国トランポリン競技選手権大会が開催され、今年5月には北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会を実施、12月にはJOCジュニアオリンピック都道府県対抗の北海道代表選手選考会が実施され、平成23年には全国高等学校トランポリン競技選手権大会が釧路市開催で決定しております。

当協会として貢献できることは大変光栄であり、普及の向上と選手の育成強化に努めてまいります。

## 手軽にスポーツを!

釧路バウンドテニス協会 事務局長 中村 先人



バウンドテニスは「いつでも、どこでも、誰でも」できる新しい軽スポーツとして誕生。昭和60年11月、道内では札幌、函館に次いで3番目の協会として発足しました。昭和63年に全国スポレク祭りに採用され、生涯スポーツとして広く認められてきました。

協会員数40名（公認指導員8名）、各サークルでは、健康維持やストレス解消、技術向上のために練習に取り組んでいます。

全日本・北海道ブロック・全道選手権、全国スポレク祭、全国ゴールド大会に出場、好成績を残しています。昨年9月には北海道ブロック親善交流試合を湿原の風アリーナ釧路で開催、好評を得ました。

今年度の協会事業として、小田原杯、清水杯大会、市秋季体育祭参加、初心者・技術向上講習会を計画し取り組んでいます。

当協会として今後もバウンドテニスの普及・発展のため、新会員の募集、育成定着を図るよう努力してまいります。

# 2010年日中成人スポーツ交流事業

日本と中国の両政府は2007年を日中国交正常化35周年と位置づけ、それを記念した「日中文化・スポーツ交流」は、本年度で4年目を数えます。

中国からは、テニス、卓球、バドミントン及びボウリングの4種目、総計62人の生涯スポーツに親しむ成人選手団が来釧しました。

メイン会場である「湿原の風アリーナ釧路」の他、「鳥取ドーム」、「釧路パレスポウル」において、スポーツを通じた日中両国の親善と友好をいっそう深め合いました。



卓球



バドミントン



ボウリング



テニス

## 釧路市スポーツ少年団

釧路市スポーツ少年団は、昭和59年11月に釧路市体育協会の下部組織として設置され、本年度は、15種目で80団体、約1,900人の団員が登録されております。

団員たちは、スポーツを通して望ましい「からだ」や「こころ」をつくるため、仲間とともに日々の練習に励んでおります。

少年団としての日常的なスポーツ活動のほか、他の団との交流として、体力テスト会、ジュニアリーダースクール、スポーツ交流会など意義ある事業が行われています。



体力テスト会



ジュニアリーダースクール  
乗馬体験



ジュニアリーダースクール  
ファイヤーストーム

## ホームページが開設

<http://kushiro-taikyo.jp>

本年度の達成事業の一つであった釧路市体育協会のホームページが、開設されております。

「釧体協だより」と同様、広報活動のさらなる充実を目指し、スピーディかつタイムリーで見守りしめるよう努めております。

掲載内容は、本年度の事業計画、表彰式、体育祭、共催・後援事業など、多くのページが用意されております。

とりわけトピックについては、こまめな更新を心掛けておりますし、アニメーションなど表現方法に工夫をこらしております。

現在は、情報の共有化・スピード化の時代。どうか、積極的に閲覧して下さいますとともに、リクエストやニュースのご提供など、ご協力の程を切にお願い申し上げます。



トップページ

### 編集後記

猛烈な暑さに見舞われた日本列島。今年の夏は、各地で最高気温が更新されました▼釧路市では6月26日の午後4時51分に阿寒地区で観測された32.4℃。釧路市で30℃を超えたのは1910年の統計開始以来、これで6回目となります。100年で6回ですから、釧路がいかに冷涼な地であるかがわかります▼大規模運動公園内に建設された釧路市民屋内練習場のオープンセレモニーも暑い日でした。おりしも亜細亜大学硬式野球部が合宿しており、プロ並みの模範投球を目の当たりにできました▼「涼しくて素晴らしい施設のある釧路でキャンプできることに感謝している。」とは同部監督の弁です。今年約30チームが釧路市内での合宿を計画・実施しています▼スポーツを通じた元気都市くしろの実現は、スポーツ都市宣言の理念です。市民が自ら「すること」はもちろんですが、同時に「観ること」「支えること」もスポーツとの重要なかわり方です▼スポーツの合宿や全国・全道大会をより多く迎え入れ、一流のチームや選手のプレーに接する機会がいっそう増えてほしいものです。